令和２年度　第３回北海道私立学校審議会 議事概要＜書面開催＞

1　委員定数　１５名

（大西正宏委員、大西修夫委員、相馬真吾委員、佐藤みゆき委員、須藤美紀子委員、
守本朝美委員、布川耕吉委員、後藤真澄委員、浅井卓委員、齊藤茂子委員、
本間裕邦委員、苫米地司委員、小倉悦子委員、中村健治委員、前田賢次委員）

2　日　　時　令和３年２月22日（水）～３月10日（水）

（１）資 料 発 送　2月22日(月)

（２）質 疑 期 間　2月22日(月)～ 3月 1日(月)　【質疑様式提出：15名(質疑3件「別紙」のとおり)】

（３）質疑への回答　3月 3日(水)

（４）審 議 期 間　3月 3日(水)～ 3月10日(水)　【審議内容提出：15名(全件承認)】

3　議　　題

（１）私立高等学校の広域通信制課程に係る学則変更認可について　(1件)

（２）私立高等学校の廃止認可について　(1件)

（３）私立高等学校の解散認可について　(1件)

（４）私立幼稚園の定員減認可について　(13件)

（５）私立幼稚園の廃止認可について　(14件)

（６）専修学校の目的変更認可について　(1件)

4　議事概要

（１）私立高等学校の広域通信制課程に係る学則変更認可について

北海道芸術高等学校の面接指導等実施施設の追加等に係る学則変更可について、全会一致で認可可とされた。

（２）私立高等学校の廃止認可について

江陵高等学校の廃止認可について、全会一致で認可可とされた。

（３）私立高等学校の解散認可について

学校法人多田学園の解散認可について、全会一致で認可可とされた。

（４）私立幼稚園の定員減認可について

清田幼稚園（札幌市）、認定こども園かしわ幼稚園かしわ保育園（恵庭市）、第二かしわ幼稚園（恵庭市）、認定こども園南幌みどり幼稚園（南幌町）、白石幼稚園（札幌市）、認定こども園北見わかば

幼稚園（北見市）、釧路豊川幼稚園（釧路市）、認定こども園カトリック士別幼稚園（士別市）、江別あかしや幼稚園（江別市）、美原つくし幼稚園（釧路市）、札幌創価幼稚園（札幌市）、めいほう幼稚園（旭川市）、わかば幼稚園（旭川市）の定員減認可について、全会一致で認可可とされた。

（５）私立幼稚園の廃止認可について

長万部マリア幼稚園（長万部町）、北郷札幌幼稚園（札幌市）、認定こども園太陽の子幼稚園（函館市）、苫小牧ふたば幼稚園（苫小牧市）、第2あつべつ幼稚園（札幌市）、Cinq Perles幼稚園（札幌市）、網走若葉幼稚園（網走市）、つみき幼稚園（札幌市）、黎明幼稚園（札幌市）、ときわみなみの幼稚園（札幌市）、はくちょう幼稚園（苫小牧市）、札幌国際大学附属幼稚園（札幌市）、北海道文教大学附属幼稚園（札幌市）、原学園ひかり幼稚園（苫小牧市）の廃止認可について、全会一致で認可可とされた。

（10）専修学校の目的変更認可について

愛犬美容看護専門学校（札幌市）の目的変更認可について、全会一致で認可可とされた。

「別紙」

令和2年度第3回北海道私立学校審議会諮問事項に関する質疑事項

質　問

①　北海道芸術高等学校の面接指導等実施施設の追加等に係る学則変更認可について
　学習センターの基準とは

②　札幌創価幼稚園の収容定員に係る園則変更認可について
　定員減となっているが学級数が増となるのは

③　愛犬美容専門学校の目的変更認可について
　「文化・教養分野」から「商業実務」への目的変更に伴い、履修科目や担当教員に変更はないのか

回　答

①　学習センターの基準については、道として次のとおり定めています。

・学校教育の場として適切な環境にあり、建築基準法、学校保健法、水道法、消防法、風営法など規制に抵触しないこと

・面接指導や試験を行うのに必要な施設設備を有しており、施設の所有、面積、特別教室の確保、設備などについて、以下の要件を満たすこと

主な要件

・施設全体の面積～生徒一人当たり2.31㎡以上

・普通教室の面積～同時に授業を受ける生徒一人当たり1.6875㎡以上

・特別教室の確保～保健室、図書室などが確保されていること　など

なお、面接指導や添削課題サポートについては、各教科の教員免許状を取得している実施校の教員により行うこととされており、面接指導等の際には学習センターに教員が配置されます。

②　定員減にあわせて学級数を増やすケースは、あまり多くはありませんが、当該園においては、3歳児から5歳児までの3学年全てで10名から15名の定員減を予定しており、3歳児については、より細やかで安全な教育を目指すため、現行の１学級当たりの定員を35名から15名に変更し、学級数を２学級から４学級とするものです。

③　今回の「商業実務」への目的変更に伴い、既設科目に「コミュニケーション学」及び「ビジネス学」の科目を新たに追加するとともに、「社会学」については、履修内容を見直し、マネジメントなどの授業時数を増加しています。

なお、「コミュニケーション学」「ビジネス学」については、新たに非常勤教員２名の採用を予定しています。